

平成 28 年社会生活基本調査

－ 生活行動に関する結果 －

結果の概要（岩手県版）

平成 29 年 7 月 31 日

岩手県政策地域部

目 次

調査の概要	1
利用上の主な用語	1
利用上の注意	1
結果の概要	
1 学習・自己啓発・訓練	2
2 ボランティア活動	4
3 スポーツ	6
4 趣味・娯楽	8
5 旅行・行楽	10
(資料) 平成 28 年社会生活基本調査結果 (全国)	12

調査の概要

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間における主な活動について調査し、仕事や家庭生活に費やされる時間、地域活動等へのかかわりなどの実態を明らかにし、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とし、昭和 51 年の第 1 回調査以来 5 年ごとに実施している。

平成 28 年調査は、平成 28 年 10 月 20 日を調査日として、無作為に選定した約 1,600 世帯に住んでいる 10 歳以上の世帯員約 3,800 人を対象として実施した。（全国では、約 8 万 8 千世帯、約 20 万人）

この資料は、総務省が平成 29 年 7 月 14 日に公表した過去 1 年間の生活行動に係る集計結果から、岩手県に関する部分を概要としてまとめたものである。

なお、生活時間に関する結果は、平成 29 年 9 月末日までに公表される予定である。

利用上の主な用語

- 行動者数……過去 1 年間（平成 27 年 10 月 20 日～平成 28 年 10 月 19 日）に該当する種類の活動を行った人（10 歳以上）の数
- 行動者率……10 歳以上人口に占める行動者数の割合（％）
- 平均行動日数……行動者について平均した過去 1 年間の行動日数

利用上の注意

- ポイント差は、表章数値から算出している。
- 本文中の各活動の種類名については、一部省略をしている。

結果の概要

1 学習・自己啓発・訓練

(1) 「学習・自己啓発・訓練」の行動者率は29.0%で、5年前より1.3ポイント低下

「学習・自己啓発・訓練」について、過去1年間（平成27年10月20日～28年10月19日。以下同じ。）に何らかの種類の活動を行った人（10歳以上）の数（以下「行動者数」という。）は32万9千人で、10歳以上人口に占める割合（以下「行動者率」という。）は29.0%となっている。男女別にみると、男性が15万1千人、女性が17万7千人となっており、行動者率は男性が27.7%、女性が30.2%で、女性が男性より2.5ポイント高くなっている。

行動者率は平成23年に比べ1.3ポイント低下している。これを男女別にみると、男性が1.7ポイント低下、女性が0.9ポイント低下している。

行動者率を年齢階級別にみると、15～24歳が45.3%と最も高く、75歳以上が16.3%と最も低くなっている。（図1-1）

男女別にみると、35～44歳、55～64歳及び75歳以上を除く全ての年齢階級で女性の方が高くなっている。（図1-2）

図1-1 「学習・自己啓発・訓練」の年齢階級別行動者率（平成23年、28年）

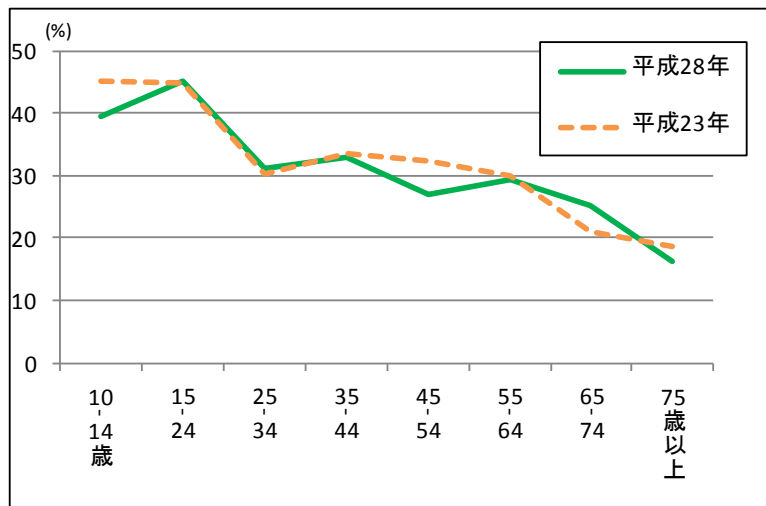
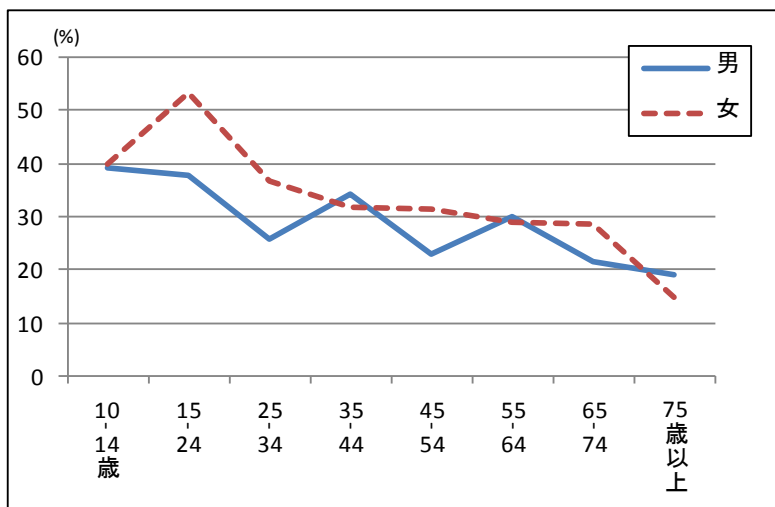


図1-2 「学習・自己啓発・訓練」の男女、年齢階級別行動者率（平成28年）



注) 「学習・自己啓発・訓練」は、社会人の職場研修や、児童・生徒・学生が学業（授業、予習、復習）として行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

(2) 男性は「パソコンなどの情報処理」の行動者率が最も高く、女性は「家政・家事」の行動者率が最も高い

「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率をみると、「家政・家事」が10.5%と最も高く、次いで「パソコンなどの情報処理」が9.1%、「芸術・文化」が8.6%などとなっている。(図1-3)

男女別にみると、男性は「パソコンなどの情報処理」が11.8%と最も高く、次いで「人文・社会・自然科学」が7.9%、「芸術・文化」が7.0%などとなっている。女性は「家政・家事」が14.6%と最も高く、次いで「芸術・文化」が10.1%、「パソコンなどの情報処理」が6.5%などとなっている。(図1-4)

図1-3 「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率（平成23年、28年）

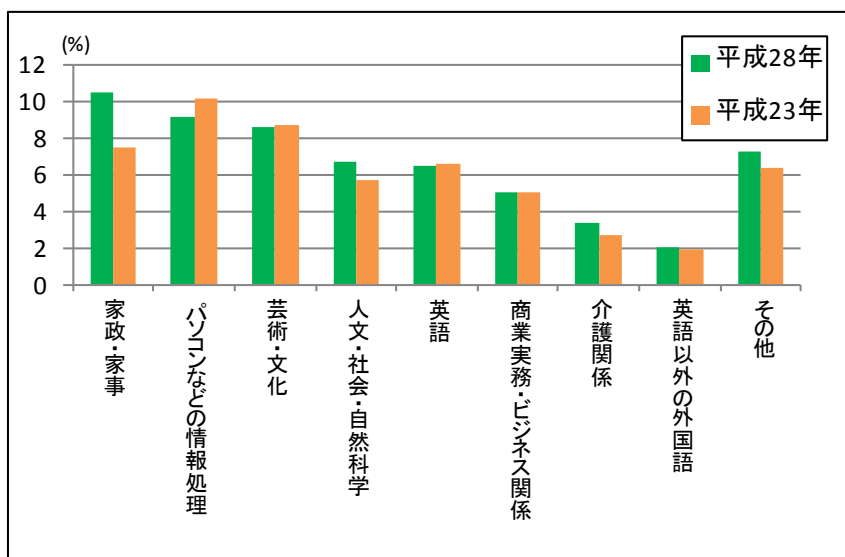
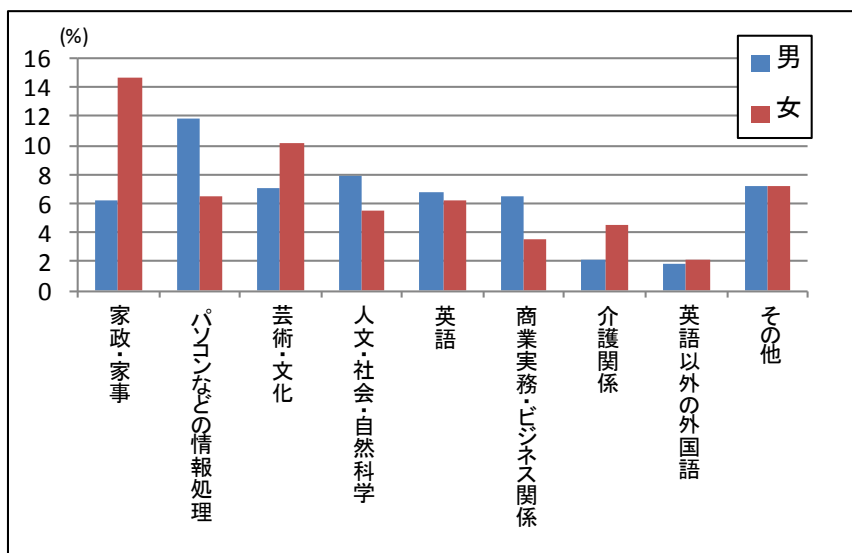


図1-4 「学習・自己啓発・訓練」の男女、種類別行動者率（平成28年）



2 ボランティア活動

(1) ボランティア活動の行動者率は30.2%で、5年前より3.5ポイント低下

「ボランティア活動」の行動者数は34万2千人で、行動者率は30.2%となっている。男女別にみると、男性が16万人、女性が18万2千人となっており、行動者率は男性が29.3%、女性が31.0%で、女性が男性より1.7ポイント高くなっている。

行動者率は平成23年に比べ3.5ポイント低下している。これを男女別にみると、男性が4.2ポイント低下、女性が2.9ポイント低下している。

行動者率を年齢階級別にみると、45～54歳が37.0%と最も高く、25～34歳が17.8%と最も低くなっている。平成23年と比べると、55～64歳以外の全ての階級で低下している。(図2-1)

また、男女別にみると、55～64歳、65歳～74歳及び75歳以上を除く全ての階級で女性の方が高くなっている。(図2-2)

図2-1 「ボランティア活動」の年齢階級別行動者率（平成23年、28年）

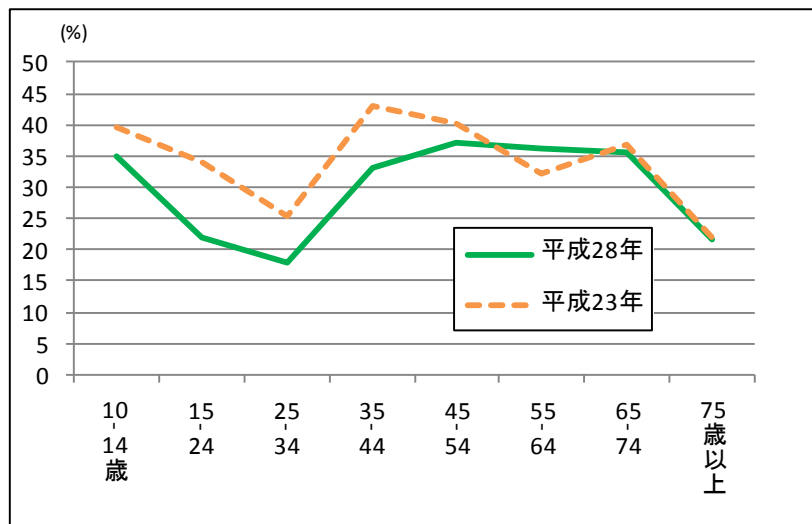
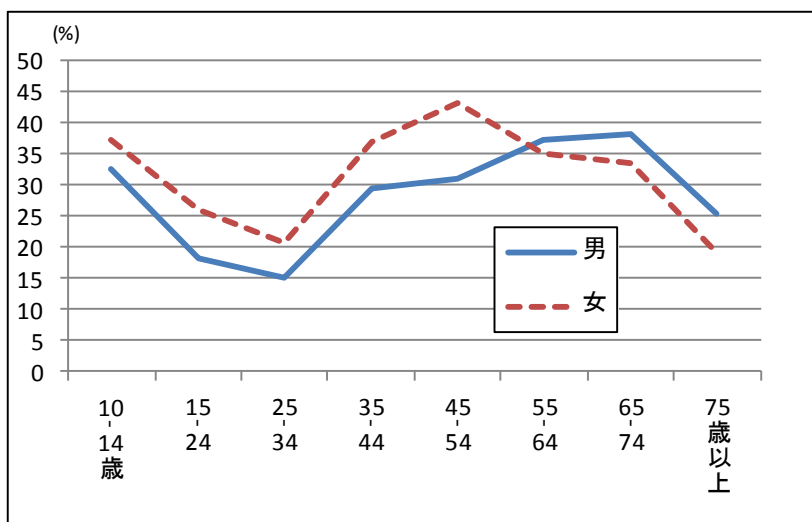


図2-2 「ボランティア活動」の男女、年齢階級別行動者率（平成28年）



(2) 行動者率は「まちづくりのための活動」が最も高い

「ボランティア活動」の種類別に行動者率をみると、「まちづくりのための活動」が16.6%と最も高く、次いで「子供を対象とした活動」が7.9%、「自然や環境を守るための活動」が6.1%などとなっている。(図2-3)

男女別にみると、男性は「まちづくりのための活動」が17.6%と最も高く、次いで「安全な生活のための活動」が7.0%、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」が6.4%などとなっている。女性は「まちづくりのための活動」が15.8%と最も高く、次いで「子供を対象とした活動」が9.6%、「高齢者を対象とした活動」が6.2%などとなっている。(図2-4)

図2-3 「ボランティア活動」の種類別行動者率（平成23年、28年）

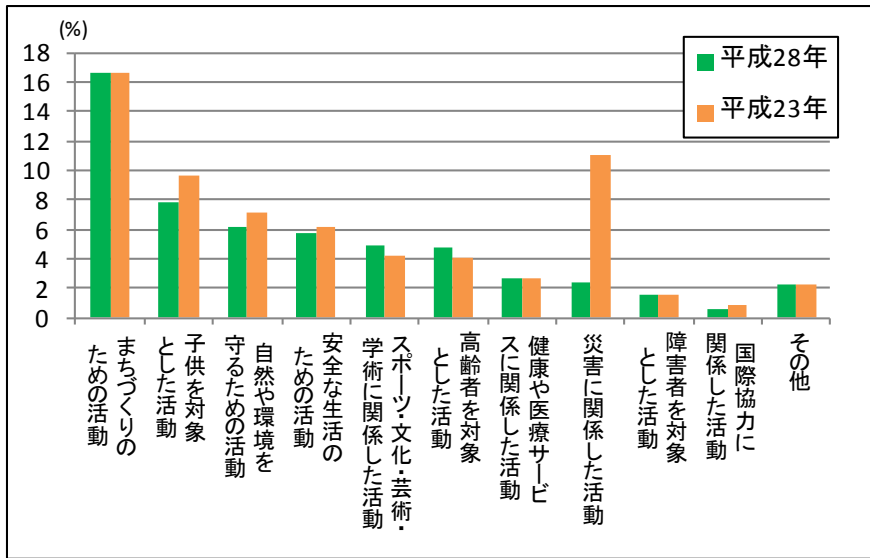
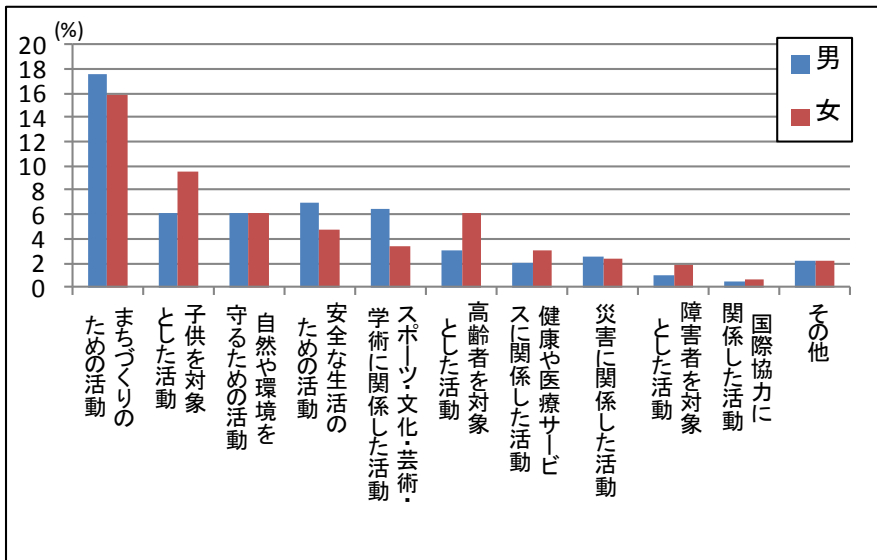


図2-4 「ボランティア活動」の男女、種類別行動者率（平成28年）



3 スポーツ

(1) 「スポーツ」の行動者率は60.6%で、5年前より5.6ポイント上昇

「スポーツ」の行動者数は68万8千人で、行動者率は60.6%となっている。男女別にみると、男性が35万6千人、女性が33万1千人となっており、行動者率は男性が65.1%、女性が56.4%で男性が女性より8.7ポイント高くなっている。

行動者率は平成23年に比べ5.6ポイント上昇している。これを男女別にみると、男性が5.0ポイント上昇、女性が5.9ポイント上昇している。

行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が90.6%と最も高く、年齢が高くなるにつれておおむね低下している。(図3-1)

男女別にみると、全ての年齢階級で男性の方が高くなっており、特に75歳以上の年齢階級で差が大きくなっている。(図3-2)

図3-1 「スポーツ」の年齢階級別行動者率（平成23年、28年）

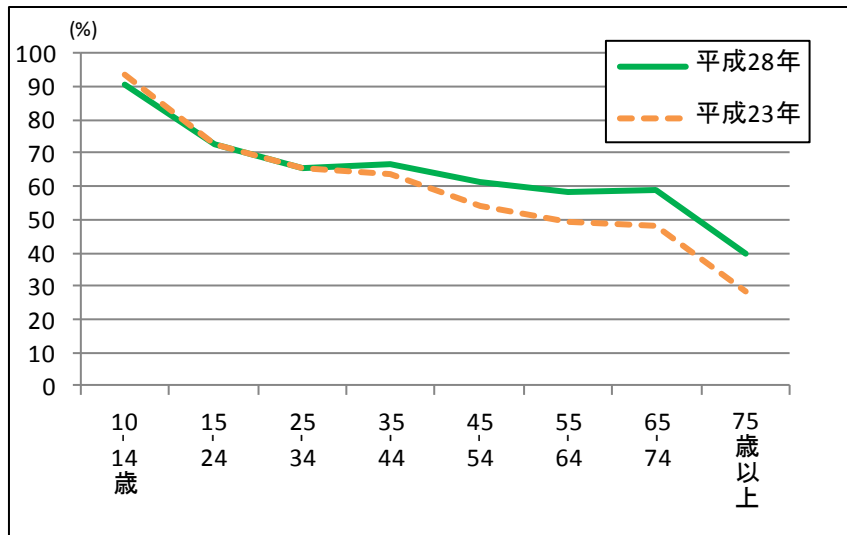
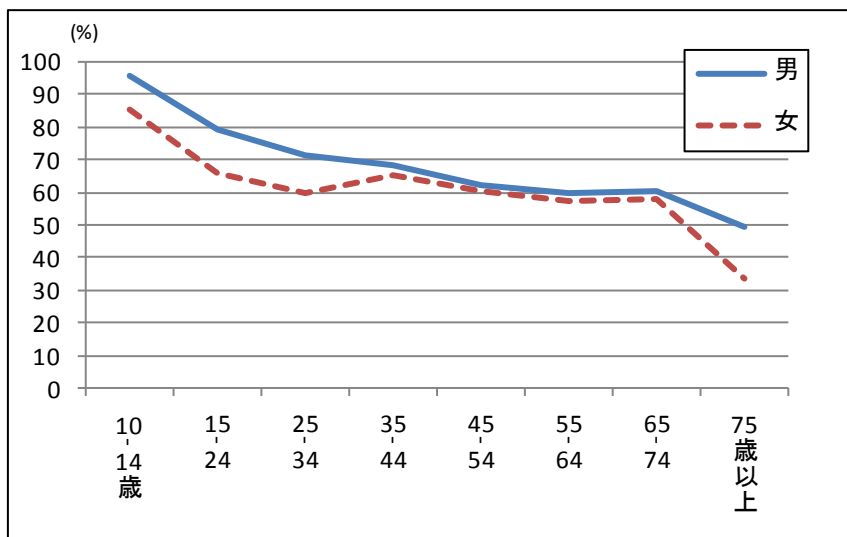


図3-2 「スポーツ」の男女、年齢階級別行動者率（平成28年）



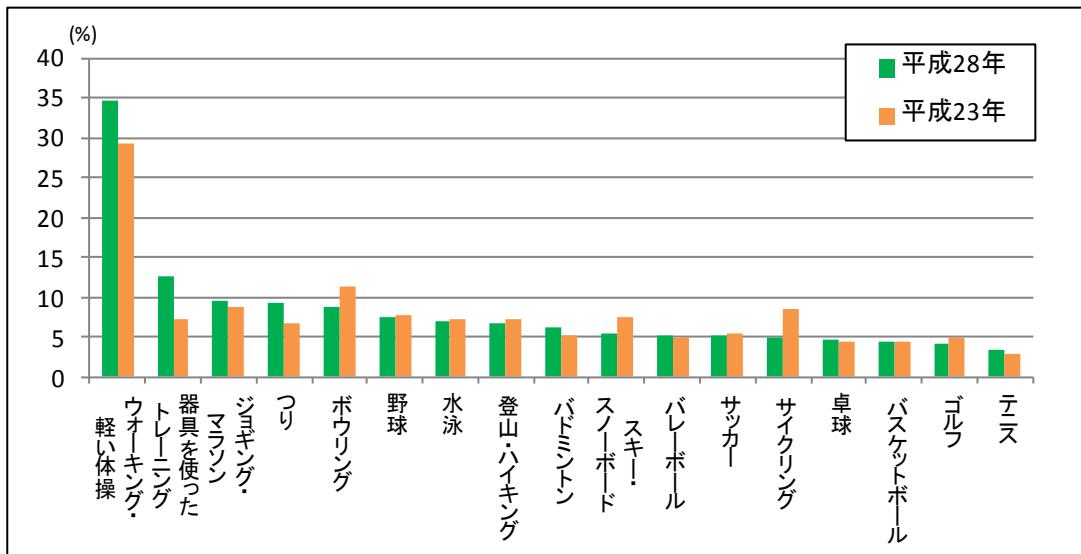
注) 「スポーツ」には、職業スポーツ選手が仕事として行うものや、児童・生徒・学生が体育の授業で行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

(2) 行動者率は「ウォーキング・軽い体操」が最も高い

「スポーツ」の種類別に行動者率をみると、「ウォーキング・軽い体操」が34.7%と最も高く、次いで「器具を使ったトレーニング」が12.7%、「ジョギング・マラソン」が9.6%などとなっている。
(図3-3)

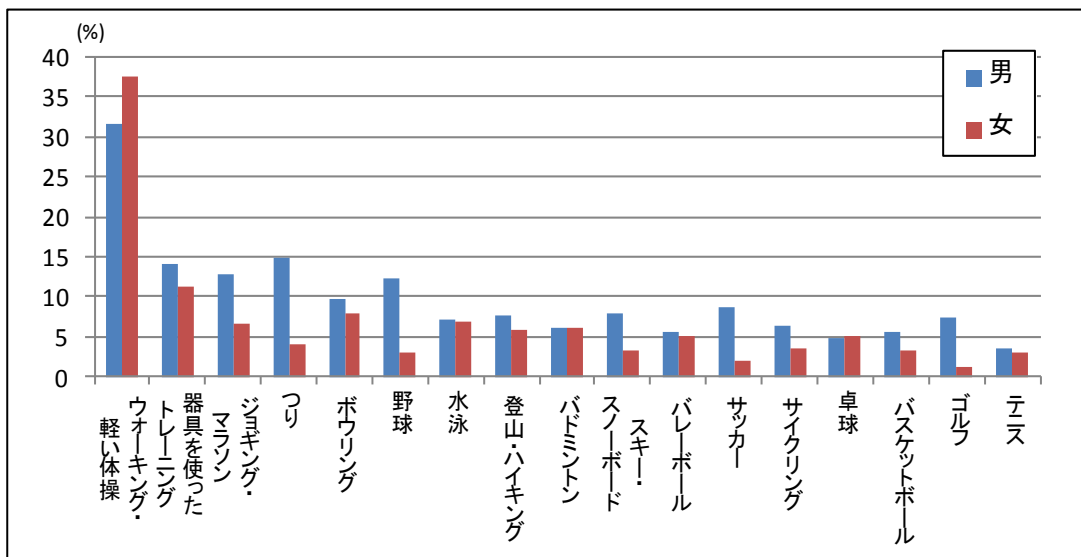
男女別にみると、男性は「ウォーキング・軽い体操」が31.7%と最も高く、次いで「つり」が15.0%、「器具を使ったトレーニング」が14.1%などとなっている。女性は「ウォーキング・軽い体操」が37.5%と最も高く、次いで「器具を使ったトレーニング」が11.3%、「ボウリング」が7.9%などとなっている。多くのスポーツで男性が女性を上回っているが、「ウォーキング・軽い体操」及び「卓球」については、女性の行動者率が男性の行動者率よりも高くなっている。(図3-4)

図3-3 「スポーツ」の種類別行動者率（平成23年、28年）



注) 行動者率が3%以上の種類を表章

図3-4 「スポーツ」の男女、種類別行動者率（平成28年）



注) 男女総数の行動者率が3%以上の種類を表章

4 趣味・娯楽

(1) 「趣味・娯楽」の行動者率は84.0%で、5年前より4.6ポイント上昇

「趣味・娯楽」の行動者数は95万3千人で、行動者率は84.0%となっている。男女別にみると、男性が46万5千人、女性が48万9千人となっており、行動者率は男性が84.9%、女性が83.2%で、男性が女性より1.7ポイント高くなっている。

行動者率は平成23年に比べ4.6ポイント上昇している。これを男女別にみると、男性が5.8ポイント上昇、女性が3.6ポイント上昇している。

行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が94.6%と最も高く、年齢が高くなるにつれておおむね低下している。(図4-1)

男女別にみると、10～14歳及び75歳以上を除く全ての年齢階級で女性が男性より高くなっている。(図4-2)

図4-1 「趣味・娯楽」の年齢階級別行動者率（平成23年、28年）

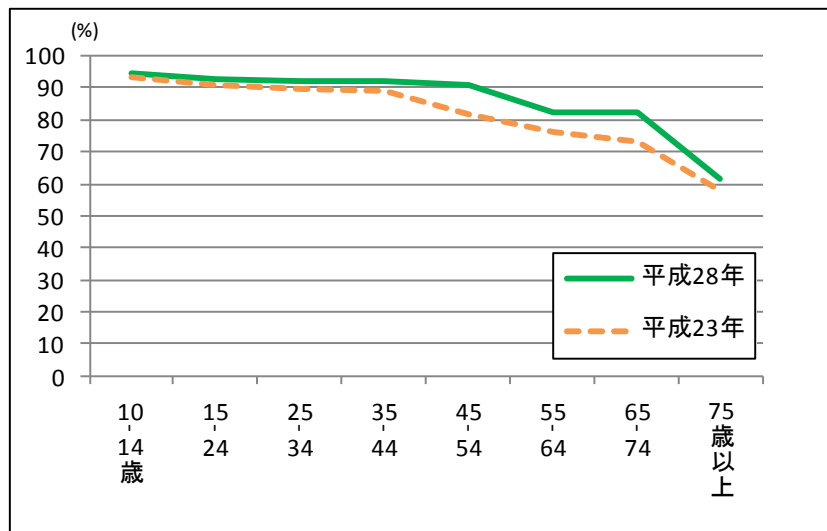
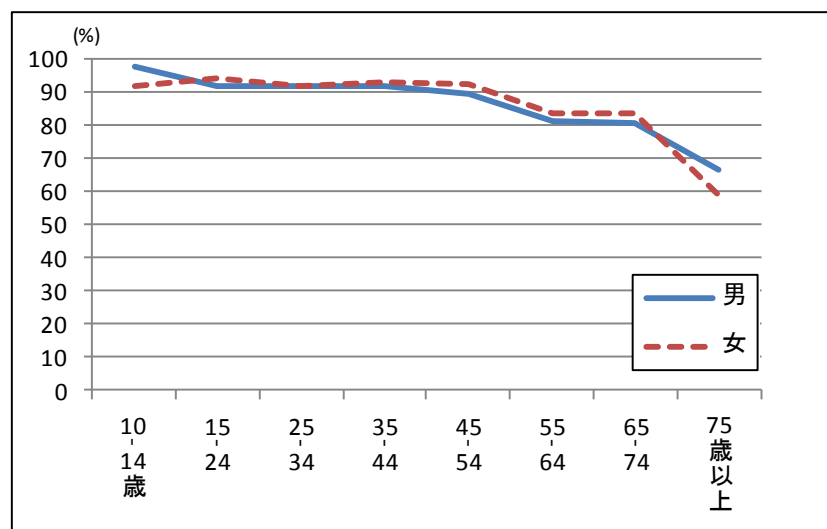


図4-2 「趣味・娯楽」の男女、年齢階級別行動者率（平成28年）



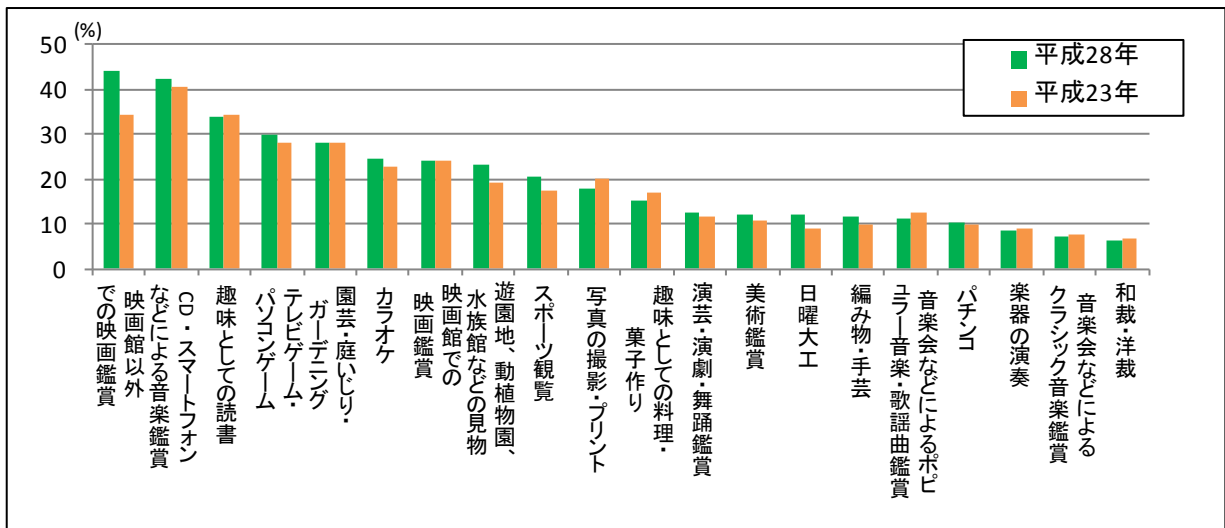
(2) 行動者率は「映画館以外での映画鑑賞」が最も高い

「趣味・娯楽」の種類別行動者率をみると、「映画館以外での映画鑑賞」が43.9%と最も高く、次いで「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が42.2%、「趣味としての読書」が33.9%などとなっている。(図4-3)

男女別にみると、男性は「映画館以外での映画鑑賞」が46.6%と最も高く、次いで「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が42.6%、「テレビゲーム・パソコンゲーム」が35.1%などとなっている。女性は「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が41.7%と最も高く、「映画館以外での映画鑑賞」が41.4%、「趣味としての読書」が38.3%などとなっている。(図4-4)

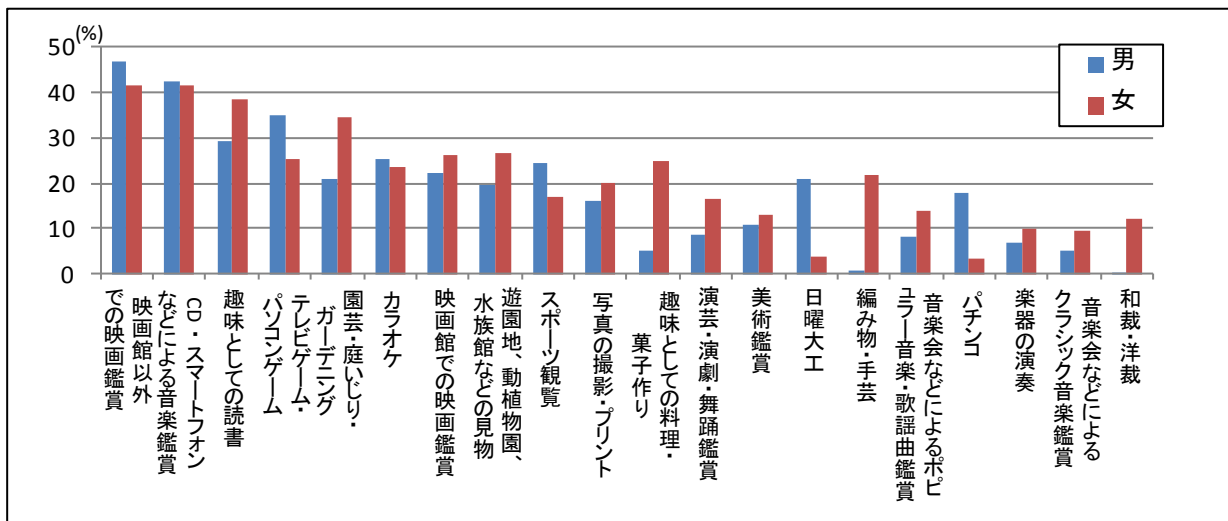
※ 映画館以外での映画鑑賞は、平成23年は「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞(テレビからの録画は除く)」として調査、平成28年は「映画館以外での映画鑑賞(テレビ・DVD・パソコンなど)」として調査しており、定義の変更があるため比較には注意を要する。

図4-3 「趣味・娯楽」の種類別行動者率(平成23年、28年)



注) 行動者率が5%以上の種類を表章

図4-4 「趣味・娯楽」の男女、種類別行動者率(平成28年)



注) 男女総数の行動者率が5%以上の種類を表章

5 旅行・行楽

(1) 「旅行・行楽」の行動者率は65.7%で、5年前より0.5ポイント上昇

「旅行・行楽」の行動者数は74万5千人で、行動者率は65.7%となっている。男女別にみると、男性が34万3千人、女性が40万3千人となっており、行動者率は男性が62.6%、女性が68.6%で、女性が男性より6.0ポイント高くなっている。

行動者率は平成23年に比べ0.5ポイント上昇している。これを男女別にみると、男性は1.5ポイント低下、女性は2.4ポイント上昇している。

行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が82.7%と最も高く、75才以上が43.7%と最も低くなっている。(図5-1)

男女別にみると、75歳以上を除く全ての年齢階級で女性が男性より高くなっている。(図5-2)

※ 平成23年は「旅行・行楽」に「業務出張・研修・その他」を含めて調査しており、比較には注意を要する。

図5-1 「旅行・行楽」の年齢階級別行動者率（平成23年、28年）

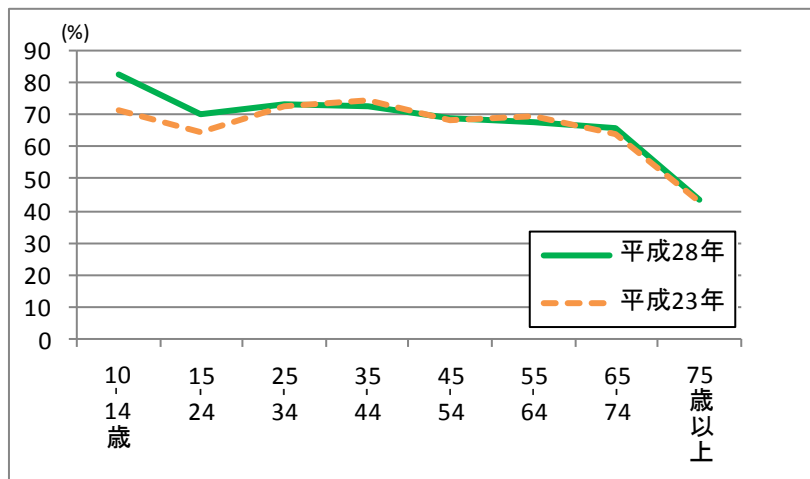
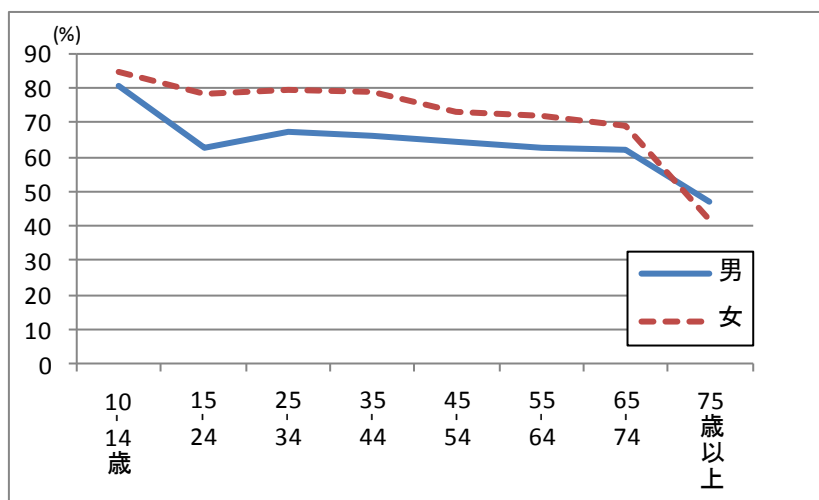


図5-2 「旅行・行楽」の男女、年齢階級別行動者率（平成28年）



(2) 行動者率は「観光旅行（国内）」が37.7%、「観光旅行（海外）」が2.1%

「旅行・行楽」の種類別に行動者率をみると、「行楽（日帰り）」が54.0%、観光旅行では国内が37.7%、海外が2.1%などとなっている。これを平成23年と比べると、「観光旅行（国内）」が3.1ポイント上昇、「行楽（日帰り）」が0.7ポイント上昇などとなっており、「観光旅行（海外）」は0.7ポイントの低下となっている。（図5-3）

男女別にみると、「観光旅行（海外）」以外の全ての種類で女性の方が高くなっている。（図5-4）

図5-3 「旅行・行楽」の種類別行動者率（平成23年、28年）

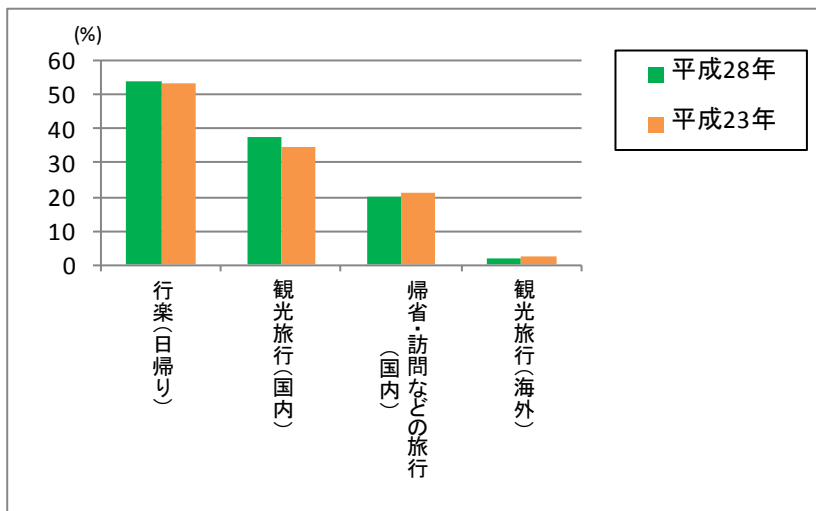
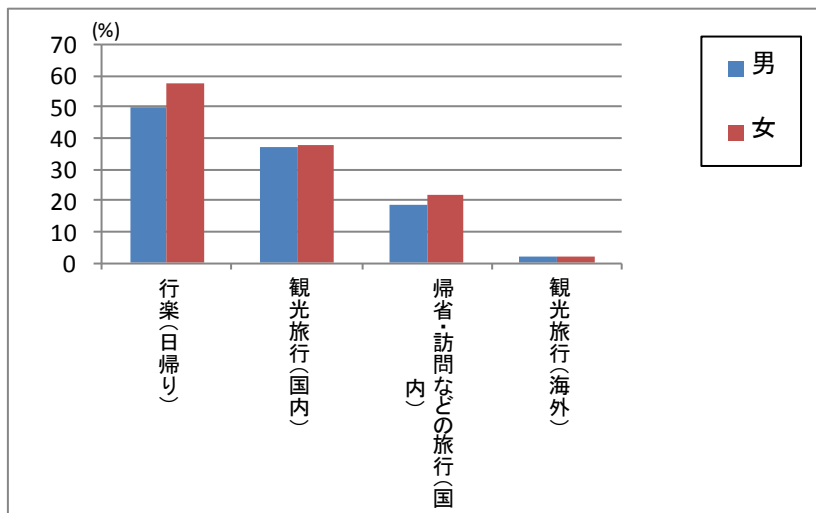


図5-4 「旅行・行楽」の種類、男女別行動者率（平成28年）



(資料) 平成 28 年社会生活基本調査結果 (全国)

(単位 : %)

学習・自己啓発・訓練			ボランティア活動			スポーツ			趣味・娯楽			旅行・行楽		
順位	都道府県	行動者率	順位	都道府県	行動者率	順位	都道府県	行動者率	順位	都道府県	行動者率	順位	都道府県	行動者率
1	東京都	46.2	1	滋賀県	33.9	1	東京都	75.7	1	千葉県	90.6	1	東京都	78.5
2	神奈川県	43.9	2	岐阜県	33.4	2	埼玉県	72.6	2	東京都	90.1	1	愛知県	78.5
3	千葉県	41.1	3	島根県	33.1	3	神奈川県	72.4	2	神奈川県	90.1	3	神奈川県	78.0
3	京都府	41.1	4	熊本県	32.7	4	千葉県	71.6	4	埼玉県	89.3	4	埼玉県	77.9
5	滋賀県	39.9	5	佐賀県	32.6	4	滋賀県	71.6	5	愛知県	88.8	5	滋賀県	77.6
6	埼玉県	39.0	5	鹿児島県	32.6	6	愛知県	71.2	6	滋賀県	88.5	6	千葉県	77.4
7	兵庫県	38.9	7	富山県	32.4	7	京都府	70.1	7	京都府	88.3	7	富山県	76.1
8	奈良県	38.7	8	長野県	32.3	8	兵庫県	69.5	8	石川県	88.0	8	奈良県	75.6
9	大阪府	37.7	9	福井県	32.2	8	奈良県	69.5	9	茨城県	87.5	9	三重県	75.2
10	岡山県	37.0	9	鳥取県	32.2	10	栃木県	69.3	10	兵庫県	87.2	10	群馬県	75.0
	全国	36.9	11	山形県	32.1	11	石川県	69.1	11	広島県	87.1	10	岐阜県	75.0
11	宮城県	36.7	12	石川県	31.6		全国	68.8		全国	87.0	12	山梨県	74.2
12	福岡県	36.6	13	岡山県	30.8	12	茨城県	68.5	12	富山県	87.0	13	宮城県	74.1
13	愛知県	36.3	14	岩手県	30.2	13	山梨県	68.2	12	岡山県	87.0	14	石川県	73.9
14	山梨県	35.2	15	大分県	29.8	13	静岡県	68.2	14	奈良県	86.9	14	兵庫県	73.9
15	長野県	35.1	16	山梨県	29.7	13	鹿児島県	68.2	15	宮城県	86.7	16	福井県	73.6
16	三重県	34.9	17	静岡県	29.4	16	群馬県	68.1	16	静岡県	86.6	16	福岡県	73.6
17	富山県	34.3	18	宮崎県	29.1	16	長野県	68.1	16	三重県	86.6		全国	73.5
17	福井県	34.3	19	三重県	29.0	18	富山県	67.9	16	大阪府	86.6	18	長野県	73.5
17	広島県	34.3	20	群馬県	28.3	18	沖縄県	67.9	19	群馬県	86.3	18	静岡県	73.5
20	茨城県	34.2	21	香川県	28.2	20	岐阜県	67.4	19	福岡県	86.3	20	茨城県	73.4
21	石川県	34.1	22	福島県	28.1	21	大分県	67.2	21	長野県	85.6	21	岡山県	73.3
21	香川県	34.1	22	福岡県	28.1	22	三重県	66.9	22	福井県	85.4	22	京都府	73.1
23	群馬県	33.9	24	山口県	27.8	22	大阪府	66.9	22	岐阜県	85.4	23	新潟県	72.7
24	沖縄県	33.8	25	長崎県	27.7	24	岡山県	66.8	24	北海道	85.2	24	山形県	72.5
25	岐阜県	33.7	26	愛媛県	27.5	24	愛媛県	66.8	24	香川県	85.2	25	栃木県	72.4
25	佐賀県	33.7	27	秋田県	27.2	26	熊本県	66.7	26	山梨県	84.9	25	大阪府	71.4
27	静岡県	33.3	28	奈良県	26.8	27	広島県	66.5	27	大分県	84.5	27	福島県	70.3
28	和歌山県	33.0	29	宮城県	26.7	28	宮城県	66.4	28	山口県	84.3	28	広島県	70.1
29	愛媛県	32.6	30	茨城県	26.2	29	香川県	66.0	29	栃木県	84.2	28	大分県	70.1
30	栃木県	32.5	30	栃木県	26.2	30	山口県	65.8	30	岩手県	84.0	30	北海道	69.1
31	大分県	32.2	30	徳島県	26.2	30	福岡県	65.8	30	山形県	84.0	31	鳥取県	68.7
32	熊本県	32.1		全国	26.0	32	徳島県	65.4	30	島根県	84.0	31	山口県	68.7
33	徳島県	31.8	33	兵庫県	26.0	33	鳥取県	65.2	33	沖縄県	83.9	33	秋田県	68.5
34	山口県	31.5	34	広島県	25.6	34	福井県	65.0	34	愛媛県	83.6	33	佐賀県	68.5
35	鳥取県	31.3	35	神奈川県	25.5	35	北海道	64.9	35	鹿児島県	83.5	35	愛媛県	67.8
35	島根県	31.3	36	千葉県	25.2	36	長崎県	64.5	36	福島県	83.4	36	島根県	67.6
37	北海道	31.0	37	沖縄県	25.1	36	宮崎県	64.5	36	和歌山県	83.4	37	香川県	67.5
38	山形県	30.8	38	愛知県	24.6	38	和歌山県	63.6	38	新潟県	83.3	38	和歌山県	67.4
39	長崎県	30.0	38	京都府	24.6	39	島根県	63.5	39	鳥取県	83.1	39	徳島県	66.8
40	鹿児島県	29.2	40	新潟県	24.5	40	佐賀県	63.4	39	佐賀県	83.1	39	鹿児島県	66.8
41	宮崎県	29.1	41	埼玉県	24.2	41	福島県	63.1	41	長崎県	83.0	41	熊本県	66.6
42	岩手県	29.0	41	和歌山県	24.2	42	高知県	62.7	42	熊本県	82.3	42	宮崎県	65.9
42	新潟県	29.0	43	北海道	22.6	42	新潟県	62.6	43	徳島県	82.1	43	岩手県	65.7
44	福島県	28.9	43	高知県	22.6	44	山形県	61.6	44	宮崎県	81.0	44	長崎県	62.2
45	高知県	27.7	45	青森県	22.4	45	岩手県	60.6	45	青森県	80.7	45	高知県	60.8
46	秋田県	27.4	46	東京都	21.6	45	秋田県	60.6	46	高知県	80.5	46	青森県	59.4
47	青森県	24.8	47	大阪府	20.6	47	青森県	56.0	47	秋田県	80.3	47	沖縄県	52.4

【問い合わせ先】

岩手県政策地域部調査統計課 生活統計担当
 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号
 TEL 019-629-5302 FAX 019-629-5309